

No.	ページ・項目	御意見
1	P3 3 基本理念	第1章が策定の趣旨・位置づけと計画期間という標題であるのに、ここで唐突に基本理念がでてくるが、第1章から順に、策定の趣旨や計画期間、水道事業の概要、これまでの取組と評価、将来の事業環境・課題を説明してきているので、第5章に基本理念を入れて、第5章 基本理念と4つの基本方針としてまとめたほうが、流れがすっきりすると思います。
2	P6 2 事業の概要 (1) 主な施設の概要と配水区域	泉浄水所の写真ですが、現在は給水塔も撤去されていますし、そもそも水道庁舎の写真を使用していますが、少し違和感があります。泉浄水所らしい写真は無かったのでしょうか。
3	P15 4 事業の状況(類似団体との比較)	①単純な間違いだと思いますが、4行目、図2.7は図2.8ではないでしょうか。 ②近隣類似団体(5団体)の平均値をもとに、偏差値で比較をしてとても判りやすいと思いますが、近隣類似団体名が記載されていればよりイメージしやすいように思います。
4	P19 2 すいすいビジョン2020における 管理指標と平成30年度までの進捗状況	優位性の上下の矢印の意味の説明が必要ではないでしょうか。単純に数値が高い方が良い、低い方が良いという意味だと思いますが、目標値と並べて記載されているために、我々市民が見たときに、目標値に対する平成30年度の優位性と誤解してしまいませんか。
5	P25 1 外部環境 (1) 給水人口と水需要の減少	今回のビジョンで基本方針に新たに「地域」を入れて、市民に身近な水道事業の運営を強調し、市民への広報・広聴の充実や市民とのパートナーシップの推進を謳っていることを評価します。その流れを汲むならば、14行目の「節水型社会にふさわしい料金体系制度を検討する必要があります。」を、「節水型社会にふさわしい料金体系制度を検討し、理解を求める努力をします。」とするほうが良いのではないのでしょうか。
6	P29 第5章 基本理念に基づく4つの基本方針	基本理念の「未来につなぐ市民と育む信頼のすいた水道」ですが、「市民と育み 未来につなぐ信頼のすいた水道」のほうが語呂が良いと思います。 基本理念であり十分に検討された上でのことだと思いますので、語呂だけの問題ではないと思いますが、新ビジョンで「地域」を基本方針に謳って、市民とのパートナーシップの推進を強調していますので、市民と育みと最初に持ってきた方が、パートナーシップを強調できるのではないかと思います。

No.	ページ・項目	御意見
7	P31 1 施策体系	基本理念の中の「地域 吹田らしさを活かした 市民に身近な水道事業の運営」という点には大いに期待します。
8	P34 2 施策・推進する事業の概要	基本方針1・施策1・事業3の指定工事事業者の実態把握、情報発信について、素案では「使用者が安心して給水装置工事事業者に工事を依頼できるよう、指定の更新制を活用した新たな取組を進める必要があります。」としていますが、具体的にはどのようなことでしょうか。市民の立場からは、家の水道でトラブルがあった場合など、指定工事事業者といっても沢山ありすぎて、どこに頼めばいいのか分かりにくいです。修理が得意なところ、24時間対応してもらえると、これまでに何かトラブルがあったところなどが分かれば市民が依頼する業者を判断するうえでありがたいです。
9	P39 2 施策・推進する事業の概要	基本方針2・施策2・事業2の片山浄水所の場内整備ですが、「市民に親しまれる浄水所としての場内整備」とはどのようなことを考えているのでしょうか。昔の虹ますセンターではないですが、市民や子ども達が水に親しめる憩いの場所となるよう企画してください。
10	P43 2 施策・推進する事業の概要 P60 1 施設整備の方針 (2) 管路整備事業 P66 2 主な工事の概要 (2) 管路整備事業 ③経年管更新工事	基本方針2・施策4・事業2の配水支管の整備で経年管の更新を年間8Kmとしています。素案では「8kmの更新ペースの理由」として、新しく布設する水道管の耐用年数100年から1%以上として8Kmを挙げていますが、現行の水道管の更新が終わった段階での根拠としては理解できますが、それで大丈夫なのかと心配します。法定耐用年数超えの経年管の割合だけで良いのかどうかを含めて更新ペースを考える必要があるのではないのでしょうか。
11	P46 推進する事業	課題の最後に、情報発信を強化する必要性が謳われていますが、推進する事業に情報発信を強化する事業が謳われていませんので、(3) 情報発信の充実を加えてはどうでしょうか。

No.	ページ・項目	御意見
12	P46 2 施策・推進する事業の概要	基本方針2・施策5・事業2の応急給水・復旧体制の充実で、災害時給水拠点等の整備として現在の21箇所から45箇所を目標にしていますが、増設する24箇所はどこを想定しているのでしょうか。また、実践的な防災訓練の実施との項目では、水道部としての訓練のみのように見えますが、基本方針4・施策2・事業4の地域力を活かした防災訓練という視点ともあいまって、小学校に配備されている可搬式浄水装置を地域で稼働できるようにするなど、地域と協働した防災訓練の視点も加えてください。
13	P52、53 2 施策・推進する事業の概要	基本方針3・施策3みんなの地球環境を守る事業が、環境を守る事業の推進となっています。水道事業を進めるうえで環境に配慮して事業を進めることは当然のことですが、それだけに留まるのではなく、水循環の一環としての水道事業であることを考えた時に、水環境を良くしていくこと、守ることにアプローチする姿勢や方針をもつ必要があるのではないのでしょうか。
14	P71 2 進捗管理と評価・見直し	(仮称)新すいすいビジョンの行程表の中で、令和6、7年に検証・見直し反映を行った結果、令和8年から10年間の次期すいすいビジョンが始まるように記載されているが、次期すいすいビジョンは(仮称)新すいすいビジョン(2020-2029)のあと、令和12年から始まるものであって、ここに記載されている次期すいすいビジョンは、令和11年までの(仮称)新すいすいビジョン(2020-2029)のローリング後の後期ビジョンではないのですか。
15	P70 3 持続可能な水道事業経営に向けての考え方 (2) 財源に関する目標設定	健全な経営に向けた目標設定の中で、企業債残高対給水収益比率を目標350%程度までとしていますが、350%を超えると早期健全化団体に転落という指標であるなら、そこまで行くのはどうでしょうか。せめて300%までとするのが適切ではないのでしょうか。
16	概要版 P14 2 施策・推進する事業の概要	基本方針3・施策3の配水方式イメージ図で、「地形の高低差をいかして、…」の説明は自然流下方式についてのものでしょうか、直送方式についての説明がなく紛らわしく思います。

※パブリックコメントの結果につきましては、10月初旬頃に公表し、御意見への水道部の考え方をお示しいたします。